

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	情報学科						
科目名	データベース演習						
科目区分	専門科目	単位数	専門	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	大木優・高橋圭一						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係の正規化を行うことができる。</li> <li>・SQL言語を使って、データベースを操作することができる。</li> <li>・与えられた課題を基に、データベースを設計することができる。</li> </ul>						
日程と内容	9月16日 9月23日 9月30日 10月7日 10月14日 10月21日 10月28日 11月2日 11月11日 11月18日 11月25日 12月2日 12月9日 12月16日 12月23日	第1回:導入講義:授業の進め方と概要の説明、成績評価法。 第2回:ACCESS演習(1) 第3回:ACCESS演習(2) 第4回:ACCESS演習(3) 第5回:ACCESS演習(4) 第6回:ACCESS演習(4) 第7回:データベースシステムのインストールと使い方 第8回:SQL演習(2) 第9回:机上SQL演習 第10回:SQL演習(3) 第11回:SQL演習(4) 第12回:SQL演習(4) 第13回:机上演習 第14回:設計演習(1) 第15回:設計演習(2)					
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート 課題 演習	100%		計	100%		
授業到達目標の達成度	到達目標に対しても概ね達成した。 演習後半では、基本情報技術者の午後の問題を課題としているが、合格点の60点を超える学生が70%いる。座学、演習で問題を解いている効果が出ていると考えている。						
反省点	演習をまじめにしているかの評価ができるような支援システムを導入して、真面目に取り組んでいるかなども評価を行ったが、使いにくい点があったので、改善したい。コピペができないエディタを使ったので、簡単なコピペで課題を出すことは少なくなった。しかし、すべての項目について、評価点が低いので、工夫をする必要がある。課題にミスプリントなど少なくなかったため、減少させたい。						
来年度の計画	引き続き、演習をまじめにしているかの評価ができるような支援システムを導入して、真面目に取り組んでいるかなども評価する。さらに、他の人からのコピー&ペーストができないエディタも使用を継続したい。この2つのプログラムはまじめに行っている学生からは不要なものであるが、不真面目な態度での受講は難しくなる。教室全体の演習への態度が向上すると考えている。						
授業評価アンケートに対するコメント	例年通り「課題が多すぎる。」という意見があった。課題が多い可能性がありますが、定期試験では高得点者も続出しており、演習の効果もあったのではないかと考えている。						
履修登録者数	80名	定期試験 受験者数	69名	合格者数	68名	合格率	99%